

第19回 基盤教育 ワークショップ

学士課程教育におけるFDが義務化された現在、大学教育の質の向上が以前にも増して求められています。本ワークショップは、大学教育の発展を目的とし、相互研鑽の理念の下、本学の教職員および「FDネットワーク“つばさ”」を始めとした学外からの参加者と一緒に議論を深めていきます。

平成29年

9/8
(金)

時間 10:00～16:30

場所 山形大学小白川キャンパス 基盤教育1号館
(山形市小白川町1丁目4-12)

9:00

10:00

10:10

受付
開会

司会：山形大学教育開発連携支援センター 教授 小田 隆治
挨拶：山形大学教育開発連携支援センター長 出口 毅

【第1部】基調講演(90分)

演題

「改革に役立つカリキュラムマップの実践例：追大はモデルとなるか」

講師

追手門学院大学 基盤教育機構長 教授 池田 輝政 氏



11:40

12:00

13:30

質疑応答
昼食・休憩

【第2部】ラウンドテーブル(180分)

第1科会

「学士課程教育の質保証～直接評価と基盤カテスト～」



コーディネーター 山形大学 学術研究院
学士課程基盤教育機構
教授 千代 勝実

パネリスト

山形大学 学術研究院 企画部 教授 浅野 茂
山形大学 学術研究院
グローバル・マネジメント部 教授 藤原 宏司

第2科会

「初年次教育のコア・カリキュラムを考える ～山形大学導入科目改革 スタートアップセミナーの事例～」



コーディネーター 山形大学 学術研究院
理学部
教授 栗山 恭直

パネリスト

山形大学 学術研究院
人文社会科学部 教授 下平 裕之
山形大学 学術研究院
学士課程基盤教育機構 講師 橋爪 孝夫

第3科会

「地域連携型キャリア教育の取組 ～実践と評価のポイントについて～」



コーディネーター 山形大学 学術研究院
学士課程基盤教育機構
准教授 松坂 暢浩

パネリスト

山形大学 学術研究院
COC 推進室 教授 横井 博
山形大学 学術研究院
地域教育文化学部 准教授 滝澤 匡

16:30



基調講演内容

演 題 「改革に役立つカリキュラムマップの実践例：追大はモデルとなるか」

講 師 追手門学院大学 基盤教育機構長 教授 池田 輝政 氏

平成29年度からの学校教育法施行規則改正を受けて、学位授与方針、カリキュラム編成・実施方針、入学者受入れ方針の3Pについて、一貫性を持った策定・公表が義務づけられました。追手門学院では平成27年度からこうした状況を想定して、学士課程カリキュラムの考え方を実現可能とする実践的なカリキュラムマップの開発を大胆に進めてきました。平成29年7月現在では教務の業務プロセスに組み入れることができるところまで仕上がってきています。これまでの経験を振り返って見えてきた知見を提供し、21世紀の教育改革課題の本丸が具体的に何であるかを議論・共有してもらいたいと考えます。

【経歴】九州大学助手、大学入試センター教授、メディア教育開発センター教授、名古屋大学教授、名城大学教授、大学院研究科長、副学長・理事（教育担当）を経て、2017年4月現在は追手門学院大学教授、学長補佐（IRとFD担当）、基盤教育機構長、アサーティブ研究センター長、IRオフィス長を務める。

2016年3月からは、「まなびのコミュニティ協会」評議委員長を兼任。

【活動】組織と個人が共に成長する教育改革と大学の経営のあり方を研究・開発のテーマとする。その応用として、授業設計、カリキュラム設計・IR（個票データに基づく教育・経営分析）・戦略経営の仕組みづくりの4領域にわたるコンサルティング活動に携わっている。

ラウンドテーブル概要

第1分科会 「学士課程教育の質保証 ～直接評価と基盤力テスト～」

コーディネーター 山形大学 学術研究院 学士課程基盤教育機構 教授 千代 勝実

国際的な高等教育の質保証という流れの中で、直接評価が目立ってきています。現在まで教育指標としてはGPAや授業改善アンケート、達成度アンケートといった間接的で主観的なものが多く用いられてきましたが、知識・技能、思考力・判断力、態度といった学力の3要素をペーパーテストやコンピュータベースのテストを利用して直接測定する手法が開発されています。

本分科会においては、3要素をスマートフォンベースで測定する山形大学の基盤力テストの取組を紹介しながら、今後の展望について議論していきます。

第2分科会 「初年次教育のコア・カリキュラムを考える

～山形大学導入科目改革 スタートアップセミナーの事例～

コーディネーター 山形大学 学術研究院 理学部 教授 栗山 恭直

学士課程教育の構築を考える上で、初年次教育の在り方についても多くの関心が寄せられています。全国で進展する大学教育改革の中では、初年次教育をリメディアル教育やジェネリックスキル教育、或いは社会人基礎力育成の機会として活用するなど、様々な試みが行われています。山形大学では学士課程基盤教育改革の中で初年次教育を「大学のミッションを明確にする授業」と位置づけ、基盤教育（導入科目・基幹科目）の改革を行っています。

本分科会においてはこのうち導入科目である「スタートアップセミナー」の事例をもとに学士課程教育の柱を担う存在としての初年次教育の在り方について議論を深めていきます。

第3分科会 「地域連携型キャリア教育の取組 ～実践と評価のポイントについて～」

コーディネーター 山形大学 学術研究院 学士課程基盤教育機構 准教授 松坂 暢浩

現在、様々な大学が地域の企業や自治体、住民と連携し、学生の社会人基礎力向上やキャリア意識を醸成する取組を行っています。そのなかで、学生が社会人との協働活動を通じて主体的に行動する「きっかけ」をつかみ、将来のキャリア形成につなげていくことが期待されています。しかし、学習機会を設定するにあたり、どのように連携機関等と教育理念を共有し、利害も整理してコンセンサスを得るか？

また、ルーブリックなど評価指標を使用し、学生のパフォーマンスやキャリア意識をどのように評価すればよいか？など課題も多い。本分科会では、教育的視点から、具体的なフィールドワークおよびインターンシップ取組事例を紹介し、実践と評価の課題について参加者と共に議論していきます。

氏名・所属・職名・電話番号、E-mail アドレスを明記し、以下のいずれかの方法でお申し込みください。

参加申込 FAX 023-628-4720

方法 E-mail k3cen@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

申込締切り 8月25日（金）

お問合せ先

山形大学小白川キャンパス事務部教務課教育企画担当 〒990-8560 山形市小白川町1-4-12

TEL/FAX. 023-628-4720 E-mail. k3cen@jm.kj.yamagata-u.ac.jp <http://www.yamagata-u.ac.jp/gakumu/kaizen/ksite/>

氏名		TEL	
所属・職名			
E-mail			
参加希望分科会	第1分科会・第2分科会・第3分科会		※参加希望の分科会に○をつけてください。